

平成30年度 誘導加熱技術部会 技術交流・見学会 株式会社タナベ 見学記

- 1.日 時：平成30年11月16日（金） 10時00分～14時30分
- 2.見学場所：株式会社タナベ（本社・大野工場、寺町工場）
- 3.説明者：(株)タナベ 代表取締役社長 田辺郁雄 様、業務部部长 水島正弘 様、総務部係長 渡辺康太 様
大野工場：工場長 齊藤孝 様、寺町工場／鑄造事業部：係長 古川正行 様
- 4.出席者：16名（事務局含む）
- 5.概要

前日に第66回誘導加熱技術部会を、北陸電力本店殿の会議室をお借りして開催。翌16日に、今年度の技術交流・見学会として、新潟県糸魚川市大字大野にある株式会社タナベ殿の本社・大野工場を午前中に見学し、午後に糸魚川駅近くの寺町にある寺町工場を見学した。タナベ殿は、創業以来、工業用電気炉と自動化を中心とした各種装置の開発・製造・販売をされている。

午前中の本社では、田辺社長から「人と地球にやさしいものづくり」で創業90余年に亘っての技術の歩みと新市場開拓へ取り組み、地域社会との連携のご講話をいただき、次に水島部長と渡辺係長より各事業の紹介をしていただいた。

タナベ殿の主な事業としては、環境事業トータルシステム事業、熱システム事業、F Aシステム事業がある。環境事業トータルシステム事業では、創業当時より取組まれている製錬・溶融技術を活用し、各種灰溶融炉は多くの自治体の都市ごみ焼却灰溶融設備として活躍している。熱システム事業では、様々な工業炉を製造・販売され、外熱式のロータリキルンは特殊材料への生産性の良い製造装置としても近年注目をされている。また、F Aシステム事業では、各種ガントリー式ロボット等を取り扱っている。

各製品は受注生産であり、お客様の要望を第一に設計・製造そしてアフターサービスと一貫で対応されている。そして、販売は日本に留まらず全世界に展開されている。

製缶加工・機械加工・組立・品質管理と開発を担う大野工場では、齊藤工場長の案内により実証用のロータリキルンを間近に見学した。設備の材質、加熱温度管理による粉の焼成具合などが重要なポイントとの説明を受け、客先と本実証機で確認しながら商談を進めているとのことであった。また、製缶工場では、溶接技術、製缶技術の向上と伝承を通して人づくりに取り組まれている様子と、生産革新としてタナベならではのロボット技術の活用に取り組まれている話を聞くことができた。

午後の寺町工場は鑄造事業と地元近隣顧客のメンテナンス事業を担い、当日は古川係長より銅鑄物の工程を順序良く見学させていただいた。実際の製品とその製造ポイントを説明いただくことで、日頃目にしない大型鑄造の生産工程を知る貴重な機会となった。

今回の見学では、電気加熱の技術の向上と品質第一で事業を進められるとともに、新たな工業炉技術により事業展開を世界規模で進められている姿や、産学だけでなく積極的な地域貢献と地域との共生など、タナベ殿の様々な取り組みを知る良い機会となった。



写真1 事業紹介



写真2 工場見学



写真3 本社・大野工場玄関にて



写真4 寺町工場玄関にて